

棚底地区振興会報 アイラトピカスラ

棚底地区振興会

倉岳町棚底1786-4
棚底地区
コミュニティセンター
Tel.64-3664
fax63-7544



川根振興協議会長

倉岳町の人口推移

国勢調査人口(昭和30年～平成27年)

西暦	和暦	人口	減少
1955年	(昭和30年)	7,888	
1960年	(昭和35年)	7,191人	(697人)
1965年	(昭和40年)	6,219人	(972人)
1970年	(昭和45年)	5,524人	(695人)
1975年	(昭和50年)	5,102人	(422人)
1980年	(昭和55年)	4,807人	(295人)
1985年	(昭和60年)	4,694人	(113人)
1990年	(平成2年)	4,450人	(244人)
1995年	(平成7年)	4,172人	(278人)
2000年	(平成12年)	3,861人	(311人)
2005年	(平成17年)	3,493人	(368人)
2010年	(平成22年)	3,085人	(408人)
2015年	(平成27年)	2,812人	(273人)

60年で約5000人減

早めの対策を!

2015年国勢調査より

平成27年に総務省が実施した5年ごとの国勢調査の結果が昨年2月に発表され、総人口が1億2711万人で、1920年に調査が始まって以来、初めて減少したそうです。

日本の総人口は、明治維新から140年で約4倍、昭和初期からの75年間で約2倍とこれまで増加傾向にあったが、ついに減少に転じました。このまま行くと人口はどんどん減少し、100年後には、半減が予測されるそうです。

しかし、日本全体では、漸くピークを過ぎた状態ですが上の表をご覧ください。我が倉岳町は、1955年(昭和30年)に7888人だった人口が2015年(平成27年)に2812人ととうとう既に60年前から国勢調査ごとに大幅に減少しているのがお分かりだと思います。

このまま推移していくと近い将来、町として存続できない限界集落になることが想定されます。何より人口の大半を高齢者が占め、働く世代の若者が極端に少なくなるのが一番危惧するところなんです。

過疎化の進展が激しい倉岳ですが、これといった資源、産業があるわけでもないだけに如何にして町外から人を集め活性化を図っていくかが課題だと思えます。倉岳の魅力ある自然と歴史文化財などを活かしたまちづくりで人口減少を真剣に考えた早目の対策が肝要ではないでしょうか。

「住民自らが自営するまち」

“天草”づくり講演会



「誇り」と「夢」の持てる地域づくりに向けて熱く講演される辻駒氏＝新和町民センター

日本の宝島“天草”づくり講演会が、2月26日(日)新和町民センターに中村市長ご来賓の下、天草市内51振興会の役員や市職員など150人以上が参加して開催された。

講師は、広島県安芸高田市の川根振興協議会長辻駒 健二氏で『住民自らが自営するまち』という演題で講演をされた。

川根地区は、平成28年3月末の人口が459人(219世帯)、高齢率45.75%と非常に過疎化の進んでいる小さな地域である。その中で、辻駒氏は、平成4年から川根振興協議会の会長として「誇り」と「夢」の持てる地域づくりを目指して取り組んでこられた。

「廃校になった中学校の跡地活用」「ホテルまつりを開催」「一人一日一円募金を展開し、財源で一人暮らし高齢者の訪問活動を実践する」「JA農協の撤退でガンリスタンが廃止になったのを住民出資により運営」「地域住民の生活実態に合わせた“かわねもやい便”の運行」「お好み住宅」などなど。

これらを通じて「自分一人で生きているのではない、地域の中で生かされている」「自分たちのまちは自分たちで守る」ということの大切さを話された。

働きかけよう

ふるさと納税！

去る、1月30日の熊日新聞1面トップに、昨年の地震発生後、ふるさと納税額が急増「熊本県が全国1位」と掲載されていました。住民のみなさんも地方を応援する仕組みとして創生された「ふるさと納税」をご存じかと思います。棚底地区振興会も既に数名の方からご寄附をいただいているところです。

しかしながら、他振興会に比べればまだまだPRが足りないのか十分浸透してないのが実情です。「ふるさと納税制度」を活用すると色々な利点もあります。

これを機会に天草市外に居住の親族、友人、知人などに「ふるさと納税制度」の活用を促し、棚底地域のまちづくりに貢献して頂くよう周知宣伝方よろしくお願い致します。

ふるさと納税制度

4つの特徴

税金が控除される！

個人が2,000円を超える寄附をしたときに、その超える部分について、所得税や住民税から税の控除ができる。

使い道が指定できる！

天草市では、寄附金の使い道として5つのメニューから選択できる。(地域コミュニティづくりなど)

特産品がもらえる！

住所が市外で1万円以上のご寄附をいただいた方に、お礼として天草市の特産品などがもらえる。

生まれ故郷でなくてもOK！

寄附をする地方自治体は、生まれ故郷でなくても構わない。

第4次発掘調査

棚底城跡現地説明会

3月4日(土)午後1時30分から国指定史跡棚底城跡第4次発掘調査の説明会が現地で行われた。現在、市文化課では適切な史跡整備と活用を図るため、史跡棚底城跡整備基本計画を策定中である。中でも、棚底城跡の本丸にあたるI郭は、城主の館があった最も重要な曲輪で、その西側の高まりは、これまで謎に包まれていた。

今回は、その発掘現場を中心に市文化課中山主査の説明で見学した。また、棚底城をめぐるの権力争い、東南アジア諸国との交流、生活状況なども併せて解説いただき、有意義な一日となった。



中山主査の説明を聴く参加者ら



I郭西側の高まり



棚底上場地区にある隠れた名勝「美月の大桜」昨年3月撮影

平成29年4月から「市政だより天草」の発行回数が毎月1回に変更される関係で配布物の持ち込みも下旬に統一されました。それに伴い、振興会だより『アイトピカズラ』も次号から1日号に合わせて発行することに致しました。大変申し訳ありませんがご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

また、「今月の人口」欄は、毎月5日ごろ発表される最新情報を待って掲載しますので、4月からはひと月遅れの人口動静となります。引き続き町内の人口推移に関心をもって見ていただきたいと思います。

今月の人口

人口動静

	世帯数		人口	
	1月末	2月末	1月末	2月末
浦	293	292(-1)	716	710(-6)
棚底	486	482(-4)	1,125	1,120(-5)
宮田	459	458(-1)	1,069	1,066(-3)
合計	1,238	1,232(-6)	2,910	2,896(-14)

主な行事予定

- 3月18日(土) 苓陽幼稚園卒園式
- 3月24日(金) 倉岳小学校卒業式
- 3月25日(土) 倉岳保育園卒園式
- 3月28日(火) 小・中・高校退任式

棚底探検ウォーク
4月23日(日)実施